

# **香川県埋蔵文化財センター年報**

平成 19 年度

2008.7

**香川県埋蔵文化財センター**



西白方瓦谷遺跡 7世紀の竪穴住居跡（西から）



別宮北遺跡・別宮北古墳群 5世紀の馬形埴輪

## はじめに

香川県埋蔵文化財センターは、埋蔵文化財の調査及び研究を行うとともに、その保存と活用を図り、県民の文化的向上に資するため、昭和62年11月1日に設置されました。

平成19年度は、埋蔵文化財の発掘調査、整理作業、報告書刊行、出土品の保管・管理、普及・啓発事業を実施いたしました。

発掘調査事業は、県道整備事業等に伴って、5遺跡で12,109㎡の発掘調査を実施いたしました。

整理・報告事業では、国道や県道の整備事業等に係る発掘調査の出土品を整理し、順次報告書を刊行して、調査成果の公表を行ってまいりました。

普及・啓発事業は、当センター第1展示室で常設展示を行うとともに、第2展示室で「埋蔵文化財発掘調査速報展」を3回開催するとともに、出土品を地元で公開する「ふるさと展示」を9回開催したほか、4回目となる四国の埋蔵文化財センター合同の巡回展「発掘へんろ～遺跡でめぐる伊豫・土佐・讃岐・阿波～」を四国各県で開催いたしました。また、広報誌「いにしえの讃岐」や研究紀要の刊行のほか、小学校への出前授業や考古学体験講座等を通じて、埋蔵文化財調査事業の周知を図りますとともに、埋蔵文化財の保護意識の普及・啓発に努めてまいりました。

このたび、これらの事業概要をまとめた平成19年度の年報を刊行いたしました。この年報によつて、香川県埋蔵文化財センターの活動が広く周知され、埋蔵文化財を活用するための一助となれば幸いです。

最後になりましたが事業の実施に際しまして、ご指導、ご協力をいただきました関係各位に心からお礼を申し上げますとともに、当センターの運営につきまして皆様方の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、ごあいさつといたします。

平成20年7月

香川県埋蔵文化財センター

所長 大山眞充

## 本文目次

I	平成19年度の事業概要	
1	埋蔵文化財調査事業	1
2	普及・啓発事業	2
II	埋蔵文化財調査事業	
1	県事業に伴う発掘調査事業	3
	大瀧遺跡	5
	多肥平塚遺跡	7
	文京町二丁目西遺跡	9
	東坂元秋常遺跡	11
	西白方瓦谷遺跡	13
2	整理・報告事業	15
III	普及・啓発事業	
1	展示	17
2	現地説明会・現場見学	22
3	講師の派遣	23
4	坂出市立府中小学校との連携事業（「よろこび学習」）	26
5	香川県埋蔵文化財センター設立20周年企画「夏休み子どもミュージアム びっくり！さぬき人2万年のあゆみ～ふるさとの歴史を発見・体験する夏～」	26
6	発掘調査体験学習（「きみのチャレンジが歴史を変える！？」）	29
7	広報誌の刊行	29
8	文化ボランティア活動	31
9	資料の貸出・利用	31
10	研究紀要の刊行	32
11	新聞連載	32
12	博物館実習・職場体験学習	32
13	刊行物一覧	33
IV	組織・施設	
1	香川県埋蔵文化財センターの組織	34
2	施設の概要	35

## 挿 図 目 次

第1図 発掘調査遺跡位置図	4	文京町二丁目西遺跡	
<b>大瀧遺跡</b>		第6図 遺跡位置図(1/25,000)	9
第2図 遺跡位置図(1/25,000)	5	<b>東坂元秋常遺跡</b>	
第3図 Ⅲ区・Ⅳ区(北半)主要遺構配置図	6	第7図 遺跡位置図(1/25,000)	11
<b>多肥平塚遺跡</b>		第8図 遺構配置図(1/600)	12
第4図 遺跡位置図(1/25,000)	7	<b>西白方瓦谷遺跡</b>	
第5図 遺構配置図(1/300)	8	第9図 遺跡位置図(1/25,000)	13

## 写 真 目 次

<b>大瀧遺跡</b>		写真17 古墳周溝跡内で出土した土器 (東から)	14
写真1 調査地遠景(南から)	6	写真18 7世紀の堅穴住居跡(西から)	14
写真2 Ⅲ区掘削状況(南から)	6	写真19 第1展示室	18
写真3 水溜め状遺構(東南から)	6	写真20 第2展示室	18
写真4 井戸跡掘削状況(東から)	6	写真21 展示解説会	18
<b>多肥平塚遺跡</b>		写真22 展示解説会(小銅鐸鋳造実験)	18
写真5 I区南半部 上位遺構面の検出遺構 (東から)	7	写真23 発掘へんろ	21
写真6 下位遺構面の溝状遺構(南から)	8	写真24 現地説明会(西白方瓦谷遺跡)	21
<b>文京町二丁目西遺跡</b>		写真25 森の文化祭(糸紡ぎ体験)	21
写真7 遺跡付近の現況(南から)	10	写真26 森の文化祭(石斧による伐採体験)	21
写真8 II区掘削状況(南東から)	10	写真27 人形はがきづくり	23
写真9 I区遺物出土状況(西から)	10	写真28 出前授業(亀阜小)	23
写真10 I区遺物出土状況(東から)	10	写真29 講演会	23
写真11 遺跡付近空中写真	10	写真30 むかしむかし体験まつり (土笛づくり)	27
<b>東坂元秋常遺跡</b>		写真31 むかしむかし体験まつり (分銅形土製品づくり)	27
写真12 I区全景(左に古代の用水路跡) (西から)	12	写真32 むかしむかし体験まつり (ガラス玉づくり)	27
写真13 II区段丘崖の落込み(東から)	12	写真33 むかしむかし体験まつり (勾玉づくり)	27
<b>西白方瓦谷遺跡</b>		写真34 子ども考古学教室 (丸亀城下町の町歩き)	27
写真14 遺跡全景(西から)	13		
写真15 弥生時代後期の堅穴住居跡 (北から)	13		
写真16 弥生時代後期の土器溜り (東から)	14		

写真35 弥生人体験キャンプ開村式	27	写真39 文化ボランティア現場研修	31
写真36 弥生人体験キャンプ(勾玉づくり)	27	写真40 文化ボランティアによる	
写真37 弥生人体験キャンプ(弓矢体験)	27	土器づくりの指導	31
写真38 発掘調査体験学	29		

## 表 目 次

第1表 発掘調査遺跡一覧	1	第13表 講演・講座等への講師派遣一覧	
第2表 整理・報告遺跡一覧	1		23~25
第3表 県事業に伴う発掘調査事業一覧	4	第14表 学校への講師派遣一覧	25
第4表 整理事業一覧	15	第15表 坂出市立府中小学校との連携事業	
第5表 刊行発掘調査報告書一覧	16	一覧	26
第6表 速報展一覧	17	第16表 香川県埋蔵文化財センター20周年	
第7表 速報展展示解説会一覧	18	企画事業一覧	28~29
第8表 展示室入館者数	18	第17表 広報誌「いにしえの讃岐」一覧	30
第9表 展示室入館団体一覧	19	第18表 資料貸出・利用一覧(数字は件数)	31
第10表 センター外展示一覧	20~21	第19表 博物館実習・職場体験学習一覧	
第11表 現地説明会・地元説明会一覧	22		32
第12表 発掘調査現場見学団体一覧	22	第20表 職員一覧	34

\* 地図は国土地理院地形図を使用しました。

# I 平成19年度の事業概要

## 1 埋蔵文化財調査事業

香川県埋蔵文化財センターは県直営施設に移行して4年目となり、前年度同様に、総務課、調査課、資料普及課の3課体制で埋蔵文化財調査事業を実施した。

### (1) 発掘調査事業

平成19年度は平成16年度以来、3カ年にわたり実施してきた小規模調査班による発掘調査は行わず、通常規模の2班により5遺跡の発掘調査を行った。

区分	遺跡名	所在地	調査原因
県	大灘遺跡	高松市	春日川河川激甚災害対策特別緊急工事
	多肥平塚遺跡	高松市	県道太田上町志度線道路改築
	文京町二丁目西遺跡	坂出市	都市計画道路富士見町線他1線道路改築
	東坂元秋常遺跡	丸亀市	国道438号道路改築
	西方瓦谷遺跡	多度津町	県道丸亀詫間豊浜線道路改築

第1表 発掘調査遺跡一覧

### (2) 整理・報告事業

国道バイパス建設、県道整備等に伴う埋蔵文化財発掘調査の出土遺物を整理し、調査報告書を印刷・刊行した。

区分	遺跡名	所在地	調査原因
国	俊正遺跡	丸亀市	一般国道32号綾歌バイパス建設
	室塚遺跡	丸亀市	一般国道32号満濃バイパス建設
	生野原遺跡	善通寺市	一般国道319号善通寺バイパス建設
	小塚遺跡	多度津町	一般国道11号坂出丸亀バイパス建設
	稻木北遺跡 永井北遺跡	善通寺市	一般国道11号坂出丸亀バイパス建設
	別宮北遺跡 別宮北古墳群	坂出市	一般国道11号建設
	吉野下秀石遺跡	まんのう町	一般国道32号満濃バイパス建設
	渡池跡 住吉遺跡	丸亀市	一般国道32号綾歌バイパス建設
	北内遺跡 池下遺跡	丸亀市	一般国道32号綾歌バイパス建設
	東坂元秋常遺跡	丸亀市	国道438号道路改築
県	東坂元三ノ池遺跡	丸亀市	国道438号道路改築
	奥白方に落遺跡	多度津町	県道多度津丸亀線建設
	奥白方南原遺跡	多度津町	県道多度津丸亀線建設
	庄八尺遺跡	多度津町	県道多度津丸亀線建設
	本郷遺跡	高松市	県道円座香南線緊急地方道整備
	川原遺跡	高松市	県道円座香南線緊急地方道整備
	鹿伏・中所遺跡	三木町	高校新設
	尾崎西遺跡	さぬき市	県道高松長尾大内線道路改良
	今津中原遺跡	丸亀市	県道多度津丸亀線緊急地方道整備
弘田川西岸遺跡	善通寺市	広域基幹河川弘田川河川改修	

第2表 整理・報告遺跡一覧

## **2 普及・啓発事業**

香川県埋蔵文化財センターが保管する埋蔵文化財資料について広範な活用を推進するとともに、従前から実施していた各種の普及・啓発事業を実施した。(事業の詳細は、Ⅲ普及・啓発事業の項を参照)

また、平成19年度は香川県埋蔵文化財センターの設立20周年に当るため、これまでの発掘調査の成果を中心に、埋蔵文化財センターのあゆみをふりかえる、展示・展示解説・体験講座を中心に学校の夏季休業の時期に開催した。このうち、体験講座の一環として「弥生人体験キャンプ2007」を1泊2日の期間で実施した。キャンプでは弓矢体験、石器を使った調理体験等のメニューが参加者に大好評であり、体験型のイベントに対するニーズを改めて実感した。

このほか、出前授業や発掘調査体験学習等を行い、広報誌「いにしえの讃岐」の刊行やインターネットによる広報活動を通じて、香川の考古学情報を発信した。

アドレスは、<http://www.prefkagawa.jp/maibun/> である。

## II 埋蔵文化財調査事業

### 1 県事業に伴う発掘調査事業

平成19年度は県土木部が行う河川激甚災害対策特別緊急工事に伴う発掘調査と、道路改築事業等に伴う発掘調査（県道太田上町志度線、都市計画道路富士見町線、国道438号、県道丸亀詫問豊浜線）を実施した。

河川激甚災害対策特別緊急工事に伴う調査は高松市の大灘遺跡で行った。本遺跡が面する春日川は高松平野東部を北流する中小河川である。調査対象地にはこの河川によって大きく侵食された部分が見られたが、古代末期以降の集落跡を確認した。また、検出した井戸跡の側板には線刻による漢字の表現が認められる。

県道太田上町志度線では、高松市多肥平塚遺跡の調査を行い、2面の遺構面を確認した。上位の遺構面では溝状遺構、柱穴跡を検出した。14世紀の集落跡の一部である。下位の遺構面では、やや大規模な溝状遺構を確認した。出土遺物には7世紀初めの須恵器が見られる。

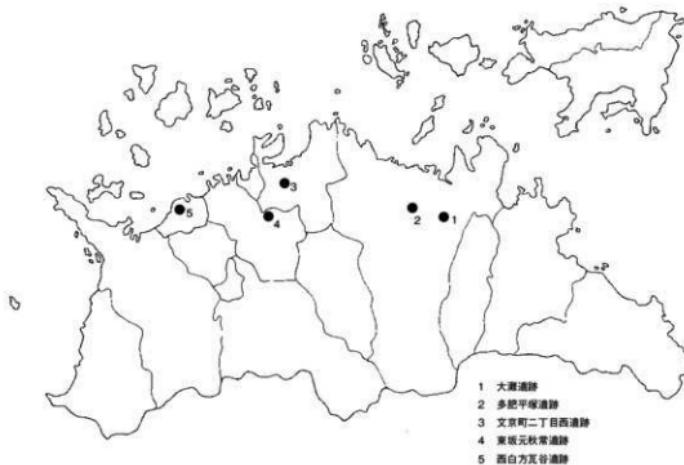
都市計画道路富士見町線では、坂出市文京町二丁目西遺跡の調査を行った。現在の海拔2m付近の調査地で、海側（北側）に傾斜する浜堤を検出した。また、奈良時代の遺物包含層が認められ、土師器、須恵器の他、釣鐘状を呈する飯蛸壺が出土した。

香川県が管理する国道のうち、国道438号関係の事業として、丸亀市飯山町で東坂元秋常遺跡の調査を行った。標高422mの飯野山東南麓に位置する遺跡である。平成17年度から継続して行っている事業であり、古代の大規模な溝状遺構を検出していた。その性格は灌漑用水路と考えられるが、今年度の調査でも関連する溝状遺構を検出し、須恵器が出土した。その他、14～16世紀頃の柱穴跡を確認しており、集落跡の一部を調査したことになる。

県道丸亀詫問豊浜線では、多度津町の海岸近くに位置する丘陵上で西白方瓦谷遺跡の調査を行った。縄文時代から中世までの遺跡である。縄文時代中期後半の土坑状の落ち込みから縄文土器が出土した。また、弥生時代中期末、後期後半、7世紀の各時期の堅穴住居跡を検出した。また、古墳時代中期の古墳周溝跡と考えられる溝状遺構を複数検出した。このうち1条からは土師器高杯や飯蛸壺が出土している。

遺跡名	調査面積	調査期間	遺構	遺物
大灘遺跡	1,171m <sup>2</sup>	平19.11～ 平20.1	旧河道跡、井戸跡、溝状 遺構、土坑、柱穴跡	土師器、瓦器
多肥平塚遺跡	1,073m <sup>2</sup>	平20.2～ 平20.3	溝状遺構、柱穴跡	弥生土器、土師器、須恵器
文京町二丁目西遺跡	1,065m <sup>2</sup>	平19.9～ 平19.10	浜堤	土師器、須恵器、飯蛸壺
東坂元秋常遺跡	2,545m <sup>2</sup>	平19.4～ 平19.8	溝状遺構、柱穴跡	土師器、須恵器
西白方瓦谷遺跡	6,255m <sup>2</sup>	平19.4～ 平20.1	堅穴住居跡、掘立柱建物 跡、土坑、古墳周溝跡	繩文土器、弥生土器、土師器、 須恵器、土錐、飯蛸壺
合計	12,109m <sup>2</sup>			

第3表 県事業に伴う発掘調査事業一覧



第1図 発掘調査遺跡位置図

# おおなだいせき 大灘遺跡

所在地 高松市由良町

調査期間 平成 19 年 11 月～平成 20 年 1 月

調査面積 1,171m<sup>2</sup>

調査担当 木下晴一 山元素子 木野戸直

調査原因 春日川河川激甚災害対策特別緊急工事

## 1. はじめに

大灘遺跡は、中小河川春日川に接する遺跡である。春日川は、平成 16 年の台風第 23 号により広い範囲に浸水被害が発生したことを受け、河川改修が進められている。

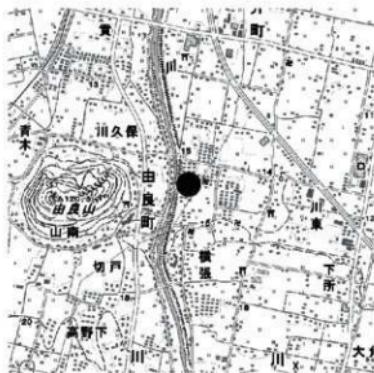
## 2. 調査の成果

調査対象地の北側と南側は、春日川の浸食によって大きく削り取られていた。このうち南側は、深さ 18 m の凹地を埋め立てて耕地を造成していた。埋め立て土中には、中世を中心に近世にかけての遺物片が比較的多く含まれている。調査地以南には、この凹地に連続する小崖が河岸に沿って連続して認められることから、完新世段丘 II 面と現氾濫原面を画する崖であると考えられる。

調査対象地の中央部は、春日川の浸食を受けずに、旧河道路跡、井戸跡、水溜め状造構、溝状造構、土坑、柱穴跡等の遺構が検出された。

旧河道路跡は、幅 7 m、深さ 0.6 m の規模である。断面は逆台形を呈し、砂層を切り込んでいるにもかかわらず直線的に流れていることから、人為的な水路である可能性もある。古代に機能し、中世には埋没している。井戸跡は木組みで、四隅に立てた柱と横桟で側板を保持する形態のもので、底に人頭大の礫を敷いている。一辺 0.7 m の大きさである。側板外側に「田」と線刻している。13 世紀初めのものと考えられる。水溜め状造構は、径 2 m、深さ 0.5 m の土坑の底中央に径 0.5 m、深さ 0.3 m の石組みの水溜めを構築したものである。石組みの井戸跡の底が遺存したとするには石組みが貧弱で、当初より写真のような構造であったと考えている。完形の土師器小皿数点を含む中世の遺物が出土している。この他、完形の瓦器椀を埋めた土坑、条里の坪界には合致しないが、方向が合致する溝状造構（年代不明）、建物跡を構成するような規格的な配置は見られないが、2 時期程度に分けられそうな柱穴群を検出した。

以上のような遺構を検出したが、遺跡の性格を確定するには至っていない。



第2図 遺跡位置図 (1/25,000)



写真1 調査地遠景（南から）



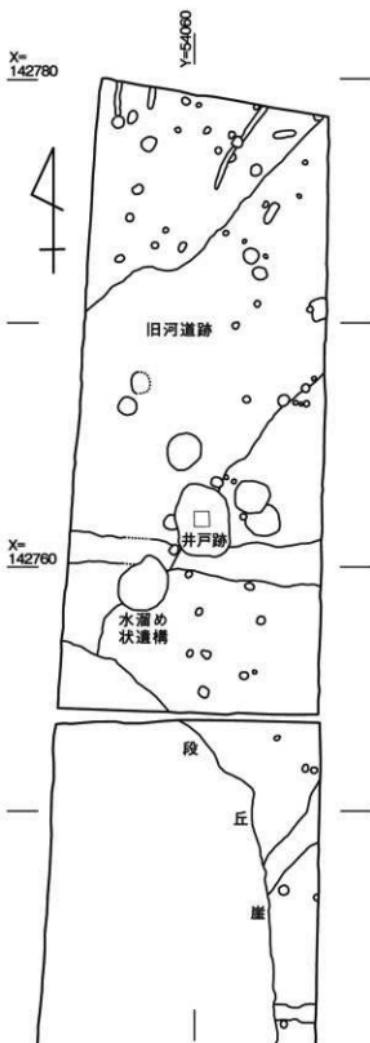
写真2 Ⅲ区掘削状況（南から）



写真3 水溜め状遺構（東南から）



写真4 井戸跡掘削状況（東から）



第3図 Ⅲ区・Ⅳ区（北半）  
主要遺構 配置図 (1/200)

# 多肥平塚遺跡

所在地 高松市多肥上町

調査期間 平成 20 年 2 月～3 月

調査面積 1,073m<sup>2</sup>

調査担当 西岡達哉 山元素子 木野戸直

調査原因 県道太田上町志度線道路改築事業

## 1.はじめに

調査地は高松平野の西部に位置する。当遺跡の東側では多肥松林遺跡、多肥宮尻遺跡、空港跡地遺跡等において弥生時代に属する集落跡や川跡が多く検出され、広範囲にわたって大規模な集落跡が存在したと考えられる。ところが、それらの西側に位置する当遺跡では同時代の遺構密度が低く、集落域から外れていく様子が窺える。

当遺跡の発掘調査は、道路予定地内の 4 箇所の旧耕作地について計画されている。本年度はそのうち最も東側の 1 箇所について調査を実施した。残りの 3 箇所は次年度に調査する予定である。なお、生涯学習・文化財課の要請により、調査地の北東部分 78m<sup>2</sup> の追加調査を行った。

## 2. 調査の成果

試掘調査の結果から、調査地の東半部に弥生土器を含む落ち込みが存在し、西半部は、遺構面が削平を受けて、ベース土である礫層が耕作土直下で検出されることが予測された。

発掘調査の結果、遺構面が 2 面あることを確認した。上位の遺構面は、弥生土器を含む落ち込みである黒色粘土上に堆積する灰色粘土（包含層）の上面である。検出遺構には溝状遺構 13 条、柱穴跡約 100 基がある。溝状遺構のうち 2 条は周辺の条里型地割と主軸方向を揃え、想定される坪界線から西及び南へ約 1 / 4 坪の位置で検出され、平面形は L 字状を呈する。柱穴跡は主に南北方向の溝状遺構の西側付近で検出されたが、遺構密度は低く、小規模な集落であったと考えられる。これらの遺構の時期は 14 世紀と考えられる。



第 4 図 遺跡位置図 (1/25,000)



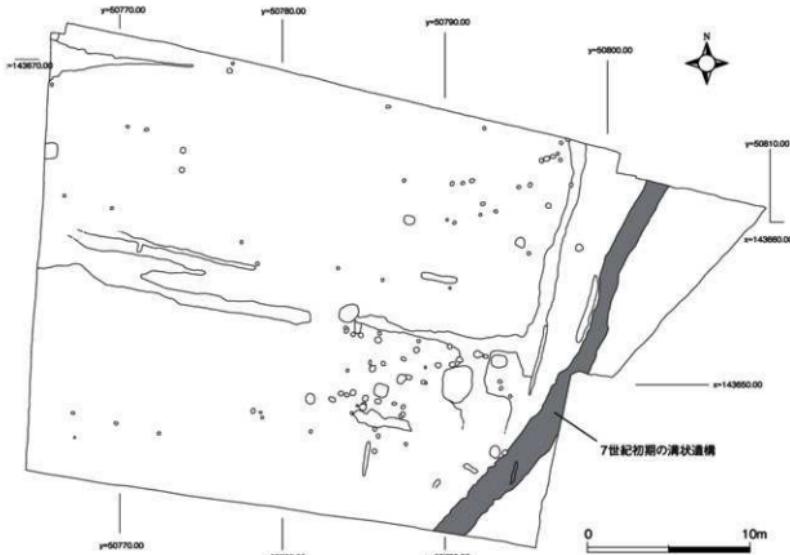
写真 5 I 区南半部 上位遺構面の検出遺構  
(東から)

下位の遺構面からは溝状遺構1条と落ち込み状の遺構を検出した。溝状遺構は調査区の東端に位置し、南半部では北東方向へ、調査地の中央部からは北北東へ方向を変えて延びる。規模は幅120cm、深さ50cmを測る。埋土中には多量のベース土ブロックを含み、短期間で埋め戻された様子が見受けられる。

出土遺物には7世紀初期の須恵器杯・蓋・壺等があり、条里型地割の施工前に開削されたと考えられる。落ち込み状の遺構は幅約23m、深さが最大35cmで、全面に黒色粘土が堆積する。埋土中からは弥生土器と7世紀の須恵器が出土したが、遺物量は少ない。また、この遺構の上面で他の遺構は検出されなかった。

### 3.まとめ

今回の調査では、14世紀の小規模な集落跡と7世紀初期の溝状遺構が検出された。7世紀初期の溝状遺構は規模も大きく、断面形状もしっかりと逆台形またはU字形を呈し、幹線的な水路の役割を果たしたと考えられる。現在の高松平野の条里型地割とは主軸方向が異なり、また人為的に埋め戻された様子が窺えることから、条里型地割が施工される以前の遺構であり、その施工時に埋め戻された可能性が考えられる。



第5図 遺構配置図(1/300)



写真6 下位遺構面の溝状遺構（南から）

## ぶんきょううちょうにちょうめにしいせき 文京町二丁目西遺跡

所在地 坂出市文京町二丁目

調査期間 平成 19 年 9 月～ 10 月

調査面積 1,065m<sup>2</sup>

調査担当 木下晴一 山元素子 木野戸直

調査原因 都市計画道路富士見町線他 1 線道路改築事業



第6図 遺跡位置図 (1/25,000)

### 1. はじめに

遺跡は、坂出市中心街の西南に位置する。今年度調査地の北側は、平成 15 年 7 月～ 9 月に調査が行われ、縄文時代後期から中世に至る遺物包含層が検出され、この包含層中の一層の珪藻分析の結果から、干潟の潮間帯の環境が復元されている。また、調査地の南側は、試掘調査の結果、遺跡は発見されなかつたが、この上流側に普通に見られる黄色系の粘質土の堆積が見られたことから、今年度調査地において、かゝっての海岸線の検出が期待された。このため、試掘調査により製塩土器と飯蛸壺が検出されている調査対象地北端の約 140m<sup>2</sup>については本調査（I 区）を行い、それ以南については遺跡の広がりを確認するための予備調査（II、III 区）の結果によって埋蔵文化財の取り扱いを判断することになった。

### 2. 調査の成果

調査の結果、調査対象地には海岸沿いに形成される浜堤が検出された。浜堤の頂部は削平されており、遺跡の広がりは認められなかつたが、I 区において、浜堤が海側に向かって下降しており、その上位に奈良時代の遺物包含層を検出した。

浜堤は、検出面より 0.9 m 堀削したが、無遺物であった。堆積物は淘汰の悪い砂で、粘土やシルトの細粒堆積物が含まれないこと、礫の円形度が低いことが特徴である。木片や貝殻片等は含まれていない。一方、奈良時代の遺物包含層は淘汰が良く、浜堤堆積物よりも細粒で有機物を含みクロスナとなっている。このほか、III 区の浜堤の砂層の検出高が他より約 0.5 m 高いこと等から考えて、浜堤の上面は風成砂で覆われ、大半は削平されていると判断できた。奈良時代の遺物は、写真に示すように小片が石材とともに散らばつて出土した。石材は、径約 25cm の風化した安山岩を中心とし、検出の状況から現位置を保っていないと判断された。遺物は、飯蛸壺が多く含まれていることが注目され、土師器の皿、高杯、須恵器の杯等の小片が出土している。

調査中に地元を対象とする説明会を開催し、66 名の参加を得た。



写真7 遺跡付近の現況（南から）



写真8 II区掘削状況（南東から）



写真9 I区遺物出土状況（西から）



写真10 I区遺物出土状況（東から）

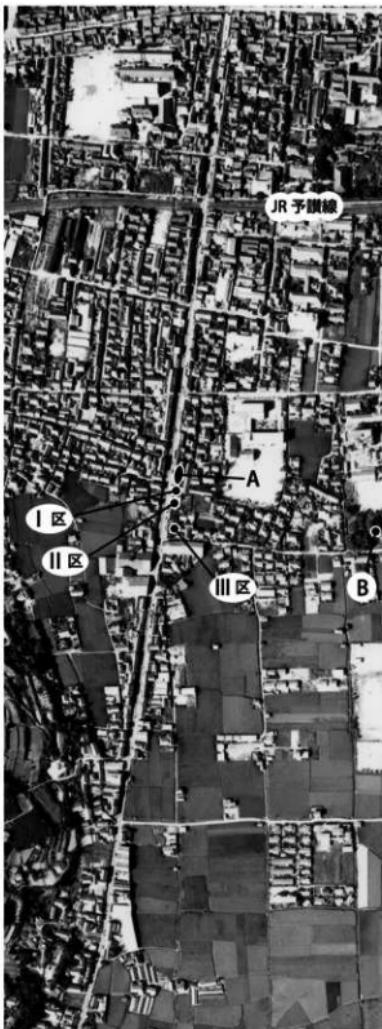


写真11 遺跡付近空中写真  
(国土地理院 1962年撮影)

I～III区：今年度調査区

A：平成15年度調査区 B：文京町二丁目遺跡

# ひがしさかもとあきつねいせき 東坂元秋常遺跡

所在地 丸亀市飯山町

調査期間 平成 19 年 4 月～8 月

調査面積 2,545m<sup>2</sup>

調査担当 木下晴一 山元素子 木野戸直

調査原因 国道 438 号道路改築事業



第 7 図 遺跡位置図 (1/25,000)

## 1. はじめに

東坂元秋常遺跡は飯野山東南麓の緩斜面上に位置する。平成 17 年度にも発掘調査を行っており、古代の大型灌漑用水路と中世後半の小規模な屋敷地を検出した。今年度の調査地は前回調査を行った A 区と B 区の間及び C 区の南西側に

該当し、北東から I 区～VI 区に分けて発掘調査を行った。

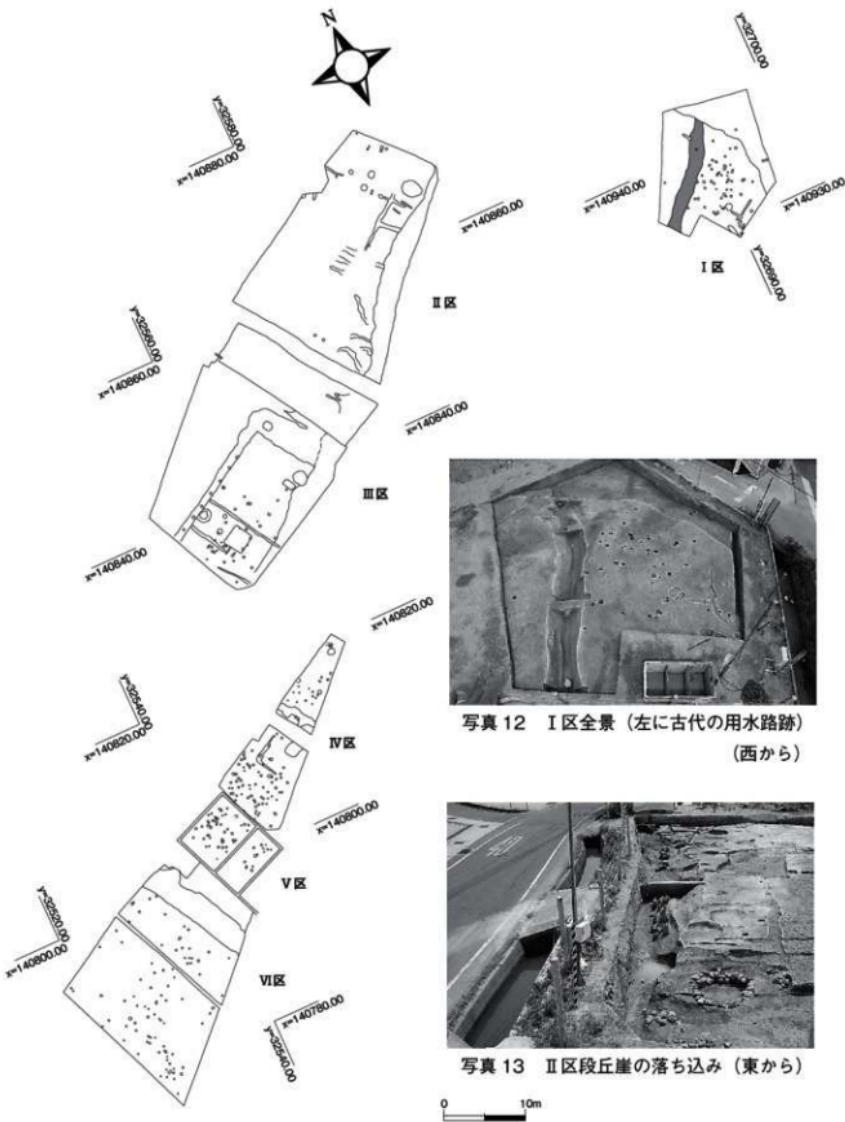
## 2. 調査の成果

今年度の調査の結果、A 区と B 区の間に位置する I 区では、前回調査でも検出した古代の灌漑用水路の連続部分を、II～VI 区では中世後半の屋敷地を検出した。古代の灌漑用水路は A 区と B 区で確認していた部分を完全に連結するような位置で検出した。出土遺物はほとんどなかったものの、須恵器がわずかに見られ、前回の調査成果を補足するものとなった。

また、I 区～VI 区では柱穴跡及び溝状遺構を検出した。柱穴跡は掘立柱建物跡を復元するには至らなかったものの、IV～VI 区を中心に多數を確認したため、屋敷地が存在したと考えられる。これらの遺構からは 14～16 世紀の遺物が出土しており、屋敷地の時期もその頃と見られる。なお、II・III 区では調査区の南東端で溝状の落ち込みを検出した。深さ 90cm 以上を測り、出土遺物は 14～16 世紀に位置付けられる。付近では段丘崖が存在したことを航空写真的観察から想定できるため、この落ち込みは段丘崖であり、14～16 世紀にかけて埋没したと考えられる。

## 3.まとめ

今回の調査では古代の大型灌漑用水路の連続部分及び 14～16 世紀の屋敷地を検出した。前者については、前回の調査成果を補足することができた。後者については、前回調査で検出した同時期の小規模な屋敷地から 500 m ほど間隔を空けて確認したため、遺跡内に複数の屋敷地が存在し、広がりを見せることがわかった。



第8図 遺構配置図 (1/600)

# にしあかわらだにいせき 西白方瓦谷遺跡

所 在 地 仲多度郡多度津町

調査期間 平成19年4月～平成20年1月

調查面積 6255m<sup>2</sup>

調査担当 西岡達哉 山下平重 藤井菜穂子

調查原因：限道九角該間豐近線道路改善事業

## 1. はじめに

当遺跡は、海岸近くの丘陵の南斜面に位置している。現状はほとんど耕作されていないものの、畑地として段状に成形された地形である。平成17年度及び平成18年度に香川県教育委員会の試掘調査により、弥生時代～古墳時代の竪穴住居跡が検出され、集落跡であることが判明している。

## 2. 調査の成果

縄文時代から中世までの遺構・遺物を検出した。

縄文時代に関しては、中期後半の里木Ⅱ式の土器が土坑状の落ち込みから出土した。

弥生時代では中後期の遺構として、竪穴住居跡1棟がある。また、後期後半は当遺跡の中心となる時期の一つで、丘陵中腹を中心に多数の竪穴住居跡、溝状遺構、土器窯跡を検出した。

古墳時代については中期に属する古墳の周溝跡が4条検出されている。いずれも削平が著しく、主体部の痕跡は確認できなかった。ただ、このうちの1条からは、土師器高杯を中心として土器が多量に出土し、中には土師質の飯蛸壺も見られる。土師質の飯蛸壺としては県内最古の事例と考えられる。

また、別の1条からは、TK208式併行と考えられる須恵器の高杯が出土している。



第9図 遺跡位置図 (1/25,000)



写真14 遺跡全景（西から）



写真15 弥生時代後期の竪穴住居跡(北から)

その後、7世紀は当遺跡のもう一つの盛行期である。丘陵裾部を中心に、竪付き竪穴住居跡、掘立柱建物跡、廐棄土坑等多数の遺構を検出している。出土遺物には、多量の須恵器、土師器の他、土錘、飯蛸壺といった多量の漁具があり、海に近接した漁村的な性格を持つ集落跡であると想定できる。

この内、土錘には県内ではこれまで数点しか出土していない須恵質のものが数点見られ、注目される。なお、銅芯金貼耳環が7世紀の竪穴住居跡の集中する部分から出土している。また、調査区の一番低い部分は、谷状の落ち込みとなつておらず、7世紀を中心とする時期の遺物が多量に出土している。

その後、鎌倉時代に至るまでの時期に属する遺構・遺物は検出されていないが、鎌倉時代頃の遺構として柱穴跡、遺物として土師質足釜、中国産陶磁器等が出土している。

### 3.まとめ

今回の調査は、島嶼部を除くと、県内では海に近接した地域で広範囲の発掘調査を実施した数少ない事例である。7世紀の集落跡は、漁具が多量に出土したため漁村的な性格を持つと考えられるが、遺構にもそのような性格が見られるのかは未確認である。今後、弥生時代後期の集落跡の様相と合わせて検討する必要がある。



写真16 弥生時代後期の土器溜り（東から）



写真17 古墳周溝跡内で出土した土器(東から)



写真18 7世紀の竪穴住居跡（西から）

## 2 整理・報告事業

整理事業の内訳は、国事業5件（8遺跡）、県事業4件（8遺跡）である。

国事業は、国土交通省から国道バイパス関連事業を受託して行った。

県事業は、土木部所管の県道建設事業が中心で、他部局所管のものとしては県立高校新設に係る鹿伏・中所遺跡の整理を行った。

これらのうち、鹿伏・中所遺跡は整理事業の2年目が終了した。

また、報告書は国事業で5冊（11遺跡）、県事業で6冊（8遺跡）を刊行した。

区分	事業	遺跡名	期間
国事業	一般国道32号満濃バイパス	室塚遺跡	平成19年4月～平成19年5月
	一般国道11号坂出丸亀バイパス	稻木北遺跡 永井北遺跡	平成19年4月～平成19年5月
	一般国道11号坂出丸亀バイパス	小塚遺跡	平成19年6月～平成19年7月
	一般国道319号善通寺バイパス	生野原遺跡	平成19年6月～平成19年7月
	一般国道32号綾歌バイパス	俊正遺跡	平成19年8月～平成19年11月
	一般国道11号	別宮北遺跡 別宮北古墳群	平成19年12月～平成20年3月
県事業	三木高校	鹿伏・中所遺跡	平成19年4月～平成20年3月
	県道多度津丸亀線	奥白方中落遺跡	平成19年4月～平成19年5月
	国道438号	東坂元秋常遺跡	平成19年4月～平成19年6月
	県道円座香南線	本郷遺跡	平成19年6月～平成20年1月
	県道多度津丸亀線	庄八尺遺跡	平成19年7月～平成19年12月
	県道多度津丸亀線	奥白方南原遺跡	平成19年8月～平成19年11月
	国道438号	東坂元三ノ池遺跡	平成19年12月～平成20年3月
	県道円座香南線	川原遺跡	平成20年1月～平成20年3月

第4表 整理事業一覧

区分	書名	遺跡名
国事業	一般国道32号満濃バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第3冊	吉野下秀石遺跡
		住吉遺跡
	一般国道32号綾歌バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第2冊	渡池跡
		北内遺跡
		池下遺跡
	一般国道32号満濃バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第4冊 及び一般国道319号善通寺バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第3冊	室塚遺跡
		生野原遺跡
	一般国道11号坂出丸亀バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第1冊	稻木北遺跡
		永井北遺跡
		小塙遺跡
県事業	一般国道32号綾歌バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第3冊	俊正遺跡
	広域基幹河川弘田川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告	弘田川西岸遺跡
	県道高松長尾大内線道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告	尾崎西遺跡
	高校新設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第2冊	鹿伏・中所遺跡
	県道多度津丸亀線緊急地方道整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告	今津中原遺跡
	国道438号道路改築事業(飯山工区)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第1冊	東坂元秋常遺跡
		中東遺跡
	県道多度津丸亀線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告	奥白方中落遺跡
		奥白方南原遺跡

第5表 刊行発掘調査報告書一覧

### III 普及・啓発事業

本年度も、昨年同様、埋蔵文化財センター展示室での常設展示・速報展示・施設外でのふるさと展示等の企画展、現地説明会の開催、現場見学の受け入れ、学校の授業や生涯学習活動等への講師の派遣、発掘調査体験学習の実施、文化ボランティア活動の推進、資料の貸出・利用への対応、広報誌の刊行、研究紀要の刊行、新聞記事の連載、職場体験学習の受け入れ等を行った。また、昨年度に引き続き坂出市立府中小学校との連携学習や、夏季休業中の社会科の課題に助言する「夏休み自由研究サポート 110 番」事業を実施した。

さらに平成 19 年度は、香川県埋蔵文化財センターが設置されて 20 周年を迎えたため、主に夏季休業中に記念事業「夏休み子どもミュージアム びっくり！さぬき人 2 万年のあゆみ～ふるさとの歴史を発見・体験する夏～」を開催した。

以下、主な事業について報告する。

#### 1 展示

##### (1) 香川県埋蔵文化財センターの展示

第 1 展示室は、「遺跡・遺物から見た香川の歴史」(常設)と題して、旧石器時代から近世までの香川県の通史を概観できる内容としている。

第 2 展示室は、整理報告が終了した遺跡の成果を速報的に展示しており、今年度は第 6 表の展示を行った。

1 年間の見学者は 2246 人であり、前年度同様、2,000 人は突破したものの、当初の目標の 2,500 人を達成することができなかった。これは学校単位での見学が減少したことと、夏休み期間中に 20 周年記念事業を県内各地で分散型の開催にしたことによるものと思われる。引き続き、春や秋の遠足シーズンに利用する学校に対する周知を強化する必要があると考えられる。

展示室においては、団体はもちろん個人の場合も見学者の希望により、随時職員による展示解説を行った。また、速報展に関する展示解説会を第 7 表のとおり開催した。今年度は 11 月と 3 月の展示解説会において、火おこし体験や青銅器の鋳造実験等の参加型のイベントを行い、家族連れから高齢者まで幅広い年齢層の方々に参加していただいた。

会期	テーマ
平成 19 年 4 月 26 日～7 月 6 日	華ひらく、弥生文化の里～鹿伏・中所遺跡、砂入遺跡～
平成 19 年 9 月 13 日～平成 20 年 1 月 18 日	せせらぎの聞こえる風景～丸亀平野南部の遺跡～
平成 20 年 1 月 24 日～4 月 25 日	香川が誇る大弥生集落～弘田川西岸遺跡～

第 6 表 速報展一覧

年月日			テーマ							
平成19年6月7日			華ひらく、弥生文化の里～鹿伏・中所遺跡、砂入遺跡～							
平成19年11月3日			せせらぎの聞こえる風景～丸亀平野南部の遺跡～							
平成20年3月1日			香川が誇る大弥生集落～弘田川西岸遺跡～							

第7表 速報展展示解説会一覧

一般			団体								合計	
大人	小人	計	団体数				構成員数					
			一般	高校生	小・中学生	計	一般	高校生	小・中学生	計		
860	338	1,198	13	0	13	26	409	0	639	1,048	2,246	

第8表 展示室入館者数



写真19 第1展示室



写真20 第2展示室



写真21 展示解説会



写真22 展示解説会（小銅鐸鋳造実験）

月 日	団 体 名	月 日	団 体 名
4月 17日	坂出市立府中小学校	10月 30日	さぬき市立津田小学校
5月 1日	綾川町立滝宮小学校	10月 30日	坂出市立府中小学校
5月 9日	坂出市立東部小学校	11月 8日	さぬき市立長尾小学校
5月 17日	高松市円座地区社会福祉協議会	11月 8日	観音寺市一の谷郷土史研究会
5月 25日	坂出市立府中幼稚園	1月 18日	高松市立香南小学校
6月 2日	さぬき市文化財保護協会	1月 25日	高松市立香南小学校
6月 6日	四国新聞文化教室丸亀会場	2月 9日	第6回 森林カレッジ
7月 27日	坂出市親子市政バス	2月 13日	デイサービス結
7月 29日	府中子ども会交流キャンプ	2月 23日・ 24日	出土木器研究会
8月 9日	高松市国分寺万灯子ども会	2月 27日	香川県立蠶学校
9月 20日	徳島文理大学文化財学科	3月 25日	三豊市文化財保護協会
10月 18日	徳島文理大学文化財学科		

第9表 展示室入館団体一覧

## (2) 香川県埋蔵文化財センター以外の施設での展示

平成19年度も、昨年度に引き続き埋蔵文化財の保護意識の啓発を積極的に進めるために、県内各地や県外の施設で展示を行った。

4年目となる四国内の5つの埋蔵文化財センターが共同で展示を行う「四国地区埋蔵文化財センター巡回展 発掘へんろ～遺跡でめぐる伊豫・土佐・讃岐・阿波～」は、今年度も順調に巡回展示を行うことができた。今回は「四国の装飾品」というテーマを掲げ、縄文時代から中世に至るまでの身につける装飾品の数々を展示了。香川会場は初めて、高松市歴史資料館を会場とし、多くの方々に見ていただいたが、次年度も同館で開催する予定となっている。

一方、昨年度より独自の展示を行つ分散型となった県立文化施設による「夏休み子どもミュージアム」については、当センターの設立20周年企画として開催したが、これについては別項で紹介する。

この他、県内での発掘調査によって出土した資料を地元で公開する「ふるさと展示」を各地で開催した。この中には、埋蔵文化財センターが各地で調査した遺物の里帰り展示や、各地の特色ある文化を示す遺物とそれに関連する埋蔵文化財センター保管品を共同展示するテーマ展示、市町合併に伴う展示会等があるが、今年度から新たに、栗林公園内讃岐民芸館において動物園跡地の発掘調査の成果を常設的に展示し、多くの観光客に江戸時代の栗林公園の様子を紹介することができた。ふるさとの祖先が残した遺物に触ることは地域に根ざす文化を再発

テーマ		会場	会期	観覧者数
ふるさと展示	ふるさとの製塩遺跡 ～高屋遺跡～	坂出市立塩業資料館	平成19年7月28日 ～9月30日	275
	華ひらく、弥生文化の里 ～鹿伏・中所遺跡ほか～	香川県立三木高校	平成19年9月7日 ～9月8日	145
	ふるさとのあけぼの ～弥生時代以前の觀音寺～	觀音寺市中央図書館	平成19年9月7日 ～9月20日	377
	西白方瓦谷遺跡 発掘調査速報展	多度津町立多度津小学校	平成19年11月3日 ～11月4日	2,150
	2007まなとビア 海と川が育んだ古代のさかいで	坂出市立郷土資料館	平成19年11月4日 ～11月25日	734
	西白方瓦谷遺跡 発掘調査速報展	多度津町立資料館	平成19年11月6日 ～12月24日	681
	東かがわ市史・考古編 ～弥生時代以前の東かがわ～	東かがわ市歴史民俗資料館	平成19年12月15日 ～平成20年2月17日	382
	海と川が育んだ古代の さかいで～下川津遺跡～	坂出市立塩業資料館	平成20年2月8日 ～3月23日	1,199
	動物園跡地発掘調査展	栗林公園讃岐民芸館	平成19年4月1日 ～平成20年3月31日	52,397
設立20周年企画	発掘！香川の古代 ～旧石器・縄文時代編～	坂出市立郷土資料館	平成19年7月24日 ～9月2日	177
	発掘！香川の古代 ～弥生時代編～	香川県埋蔵文化財センター	平成19年7月17日 ～9月7日	-
	発掘！香川の古代 ～古墳時代編～	香川県立文書館	平成19年7月24日 ～9月16日	2,912
	発掘！香川の古代 ～奈良・平安時代編～	高松市香南歴史民俗郷土館	平成19年7月21日 ～9月2日	1,480
共催展示	讃岐国分寺が生まれた頃の さぬき	高松市讃岐国分寺跡資料館	平成19年10月21日 ～11月18日	603
	まんのう町のあけぼの ～旧三町の埋蔵文化財から～	まんのう町仲南支所	平成19年11月17日 ～11月18日	257
第13回 森の文化祭		県立満濃森林公園	平成19年10月28日	850
歴博共同展示 海に開かれた都市		香川県歴史博物館	平成19年10月13日 ～11月25日	6,910
歴博共同展示関連パネル展 讃岐の港町		e - とびあ・かがわ	平成19年10月13日 ～11月25日	19,816

テーマ	会 場	会 期	観覧者数
四国地区埋蔵文化財センター 巡回展 「発掘へんろ～遺跡でめぐる 伊豫・土佐・讃岐・阿波～」	松山市考古館	平成 19 年 4 月 21 日 ～ 7 月 16 日	3,278
	高知県立埋蔵文化財センター	平成 19 年 8 月 1 日 ～ 9 月 30 日	792
	高松市歴史資料館	平成 19 年 12 月 22 日 ～平成 20 年 1 月 27 日	880
	徳島県立埋蔵文化財総合センター	平成 20 年 2 月 1 日 ～ 3 月 23 日	832
合 計			96,133

第 10 表 センター外展示一覧



写真 23 発掘へんろ



写真 24 現地説明会（西白方瓦谷遺跡）



写真 25 森の文化祭（糸紡ぎ体験）



写真 26 森の文化祭（石斧による伐採体験）

見するものであり、地元ゆかり埋蔵文化財に久しぶりに親しむことができ、好評を博した。

さらに、昨年度に引き続き、秋の「森の文化祭」への出展も行った。主に保存処理を行った木製品を中心に展示を行い、木製の臼と杵を使った脱穀体験や石斧を使った伐採体験等の参加型のイベントは、多くの参加者でぎわった。

## 2 現地説明会・現場見学

### (1) 現地説明会

発掘調査の成果を速やかに、広く一般の方々に周知するために、2遺跡において現地説明会を実施した。特に、東坂元秋常遺跡では、丸亀市教育委員会主催の「丸亀文化財の日」とタイアップして、開催したこともあり、多くの方々にご見学いただいた。改めて現地説明会を開催することの必要性を実感した。

### (2) 地元説明会・現場見学

発掘調査現場の公開は、臨場感が見学者に大きな感銘を与える点で、文化財保護意識の向上に大いに寄与する。そこで、各発掘調査現場で学校等から随時見学を受け入れた。西白方瓦谷遺跡では、地元の多度津中学校をはじめ、町内の多くの方々が見学に訪れ、多肥平塚遺跡では、地元の高松櫻井高校と多肥小学校が見学に訪れた。

現地説明会及び地元説明会・現場見学についての実績は第11・12表のとおりである。

内 容	年 月 日	対 象	見学者数
西白方瓦谷遺跡地元説明会	平成19年6月10日	地元住民	53
東坂元秋常遺跡現地説明会	平成19年7月21日	一般	98
文京町二丁目西遺跡地元説明会	平成19年12月23日	地元住民	66
西白方瓦谷遺跡現地説明会	平成19年11月10日	一般	100
合 計			317

第11表 現地説明会・地元説明会一覧

年 月 日	遺 跡 名	団 体 名	人 数
平成19年5月17日	西白方瓦谷遺跡	綾川町文化財保護協会	60
平成19年11月7日	西白方瓦谷遺跡	多度津町立多度津中学校	20
平成20年2月19日	多肥平塚遺跡	香川県立高松櫻井高校	42
平成20年3月13日	多肥平塚遺跡	高松市立多肥小学校	72
合 計			194

第12表 発掘調査現場見学団体一覧

### 3 講師の派遣

県内の教育機関、文化財関係機関、各種研究会・団体等からの派遣依頼に応えた。内容は講演、授業、体験学習、遺跡解説等である。今年度は昨年度よりも地域のコミュニティ活動に関連した講座の依頼が多く、このような傾向は次年度以降も継続していくものと思われる。



写真 27 人形はがきづくり



写真 28 出前授業（亀阜小学校）



写真 29 講演会

依頼者	月 日	場 所	内 容	対 象	人 数
宇多津町 親子体験教室	4月 22日	宇多津町保健センター	ガラス玉づくり	小・中学生 保護者	22
善通寺公民館	6月 5日	善通寺市民会館	講演会講師	会員	100
亀阜地区 民生委員協議会	6月 10日	亀阜小学校	勾玉づくり	小学生	80
坂出市子ども会 育成連絡協議会	7月 29日	坂出市醍醐古墳群	古墳めぐり	一般	57
高松市讃岐国分寺跡 資料館	7月 29日	高松市讃岐国分寺跡 資料館	アンギン編	小学生	17
高松市香南 歴史民俗郷土館	8月 4日	高松市 香南歴史民俗郷土館	勾玉づくり	小学生	22
高松市 川岡コミュニティ	8月 7日	川岡コミュニティ センター	勾玉づくり	小学生	33

勝賀城跡保存会	8月7日	勝賀山ほか	遺跡めぐりほか	小・中学生 保護者	54
高松市 木太コミュニティ	8月8日	高松市木太公民館	勾玉づくり	小学生	23
香川県観光振興課	8月18日	栗林公園商工奨励館	講演会講師	小・中学生 保護者	54
高松市 十川コミュニティ	8月24日	高松市十川公民館	勾玉づくり	小学生	48
高松市香南 歴史民俗郷土館	8月25日	高松市 香南歴史民俗郷土館	土器づくり	小学生	12
徳島市教育委員会	8月25日	徳島市考古資料館	講演会講師	一般	45
さぬき市教育委員会	8月26日	さぬき市南川自然の家	土器づくり	小・中学生 保護者	46
高松市立 香南小学校P.T.A	9月1日	高松市 ふれあいしまる館	勾玉づくり	小・中学生 保護者	105
土庄町教育委員会	9月1日	土庄町中央公民館	土器づくり	小・中学生 保護者	21
丸亀郷土史クラブ	9月8日	丸亀市総合福祉会館	講演会講師	会員	40
COOP飯山運営委員会	9月12日	COOP飯山	ガラス玉づくり	一般	20
府中壮成大学	9月13日	府中老人いこいの家	講演会講師	会員	61
土庄町教育委員会	10月7日	土庄町戸形公民館	土器焼き	小・中学生 保護者	27
高松市香南 歴史民俗郷土館	10月8日	香東川河川敷	土器焼き	小・中学生 保護者	24
高松市 鶴尾コミュニティ	10月13日	高松市 鶴尾コミュニティ	分銅形土製品 づくり	小学生	32
さぬき市教育委員会	10月14日	さぬき市南川自然の家	土器焼き	小・中学生 保護者	39
三豊市教育委員会	10月21日	山本町ふれあい公園	勾玉づくり	小学生 ほか	35
2007まなとピア 実行委員会	11月10日	坂出市勤労福祉センター	人形はがきづくり	小学生	25
まんのう町 文化財保護協会	11月18日	まんのう町仲南支所	勾玉づくり	小学生	45
東かがわ市 歴史民俗資料館	1月19日	東かがわ市 歴史民俗資料館	展示解説	一般	40
高松市塩江公民館	1月26日	高松市塩江公民館	土笛づくり	小・中学生 保護者	28

東かがわ市 歴史民俗資料館	2月 3日	東かがわ市 引田公民館	講演会講師	一般	20
磯の会（宇多津町の 郷土史を学ぶ会）	2月 5日	宇多津町 やすらぎプラザ	講演会講師	会員	20
フェレスター'かがわ'	2月 9日	香川県 埋蔵文化財センター	講演会講師他	一般	50
高松市香南 歴史民俗郷土館	2月 16日	高松市香南 歴史民俗郷土館	ガラス玉づくり	小・中学生 保護者	28
COOP 飯山運営委員会	2月 20日	COOP 飯山	ガラス玉づくり	一般	10
三豊市教育委員会	3月 1日	三野町 社会福祉センター	ガラス玉づくり	小学生	60
香川県観光振興課	3月 29日	栗林公園商工奨励館	講演会講師	小・中学生 保護者	30
合 計					1,307

第13表 講演・講座等への講師派遣一覧

学校名	月 日	場 所	内 容	対 象	人 数
坂出市立東部小学校	5月 9日	香川県 埋蔵文化財センター	土器づくり他	6年生	79
高松市立亀阜小学校	5月 22日	亀阜小学校	出前授業	4年生	20
坂出市立櫃石小学校	6月 5日	櫃石小学校	土器づくり	1~6年生	12
高松市立前田小学校	6月 25日	前田小学校	土器づくり	6年生	40
高松市立亀阜小学校	6月 26日	石清尾山古墳群	古墳めぐり	4年生	20
坂出市立東部小学校	6月 28日	東部小学校	土器焼き	6年生	79
坂出市立櫃石小学校	7月 6日	櫃石小学校	土器焼き	1~6年生	12
坂出市立櫃石小学校	7月 12日	櫃石小学校	土器製塩	1~6年生	12
坂出市立東部小学校	9月 13日	東部小学校	土器製塩	6年生	79
高松市立前田小学校	10月 3日	前田小学校	土器焼き	6年生	40
高松市立屋島西小学校	10月 17日	屋島西小学校	製塩土器づくり	6年生	118
高松市立亀阜小学校	11月 9日	石清尾山古墳群	古墳めぐり	4年生	20
高松市立亀阜小学校	1月 9日	高松市歴史資料館	展示解説他	4年生	20
高松市立屋島西小学校	1月 16日	屋島西小学校	製塩土器焼き	6年生	118
合 計					669

第14表 学校への講師派遣一覧

#### 4 坂出市立府中小学校との連携事業（「よろこび学習」）

昨年度に引き続き、坂出市立府中小学校との連携事業として、総合的な学習の時間を利用した活動を一年間にわたって実施した。4月の展示見学に始まり、出前授業や土器づくり、炊飯体験等全部で8回の活動を実施した。詳細な内容は第15表のとおりである。

回数	月 日	場 所	内 容	対象	人 数
第1回	4月 17日	香川県 埋蔵文化財センター	施設見学	6年生	45
第2回	6月 8日	府中小学校	出前授業（旧石器～縄文）	6年生	45
第3回	6月 15日	府中小学校	出前授業（弥生～古墳）	6年生	45
第4回	6月 22日	府中小学校	土器づくり	6年生	45
第5回	6月 29日	府中小学校	遺跡めぐり（国府等）	6年生	45
第6回	9月 21日	香川県 埋蔵文化財センター	勾玉づくり	6年生	45
第7回	10月 26日	府中小学校	土器焼き	6年生	45
第8回	11月 2日	府中小学校	土器炊飯	6年生	45
合 計					495

第15表 坂出市立府中小学校との連携事業一覧

#### 5 香川県埋蔵文化財センター設立20周年企画「夏休み子どもミュージアム びっくり！さぬき人2万年のあゆみ～ふるさとの歴史を見発見・体験する夏～」

平成19年度は、香川県埋蔵文化財センターの設立20周年に当たるため、これまでの発掘調査の成果を中心に、埋蔵文化財センターのあゆみをふりかえる、展示・展示解説・体験講座を学校の夏季休業中の期間を中心に開催した。

展示は、周辺の資料館との連携を活性化するため、時代別に埋蔵文化財センターを含めた4会場では同時期に開催し、合計で5,000人を超える来館者でにぎわった。

展示解説は「子ども考古学教室」と題し、各展示会場において展示資料を見ながら専門職員がわかりやすく紹介するもので、4会場で開催した。また、特別講座として丸亀城下町を歩きながら江戸時代の様子を説明する、いわゆる町歩きの講座も開催し、合計5回の講座を開催した。

体験講座は、従来、外部からの依頼によって出前講座として出張していた古代技術の体験講座を、当センターの主催で一元的に行うもので、7月の最終週と8月の第3土・日の合計7日間実施した。メニューは勾玉づくりや土器づくり、ガラス玉づくりなど定番のもの7つを設定したが、合計で400人を超える参加があり、好評を博した。しかしながら、人気のあるメニューと、そうでないものとが認められ、メニューの選択を見直す必要があると思われる。



写真 30 むかしむかし体験まつり（土笛づくり）



写真 31 むかしむかし体験まつり（分銅形土製品づくり）



写真 32 むかしむかし体験まつり（ガラス玉づくり）



写真 33 むかしむかし体験まつり（勾玉づくり）



写真 34 子ども考古学教室（丸亀城下町の町歩き）



写真 35 弥生人体验キャンプ開村式



写真 36 弥生人体验キャンプ（勾玉づくり）



写真 37 弥生人体验キャンプ（弓矢体験）

また、初の試みとなるが、体験講座の一環として、8月第1週目の土・日を利用して、屋外展示場において1泊2日の「弥生人体験キャンプ2007」を開催した。5家族限定で事前に参加を募ったところ、10組をはるかに超える応募があり、体験型の催しの人気を改めて実感した。キャンプにおいては、勾玉づくりや弓矢の体験、石器での調理体験等をメニューにしたが、時間配分等に多くの課題が残った。しかしながら、参加者には大好評であり、また、開催後も次年度の問合せ等があり、今後も内容を再検討した上で継続していく予定である。

#### 特別展「発掘！香川の古代～ここまでわかった、香川の歴史～」

時代	会場	会期	入場者数
旧石器・縄文時代	坂出市立郷土資料館	7月24日～9月2日	177
弥生時代	香川県埋蔵文化財センター	7月17日～9月7日	635
古墳時代	香川県立図書館	7月24日～9月16日	2,912
奈良・平安時代	高松市香南歴史民俗郷土館	7月21日～9月2日	1,480
合計			5,204

#### 子ども考古学教室「知ってナットク！ふるさとの歴史」

回数	会場	開催日	人数
第一回（旧石器・縄文）	坂出市立郷土資料館	7月26日	3
第二回（弥生）	香川県埋蔵文化財センター	8月3日	10
第三回（古墳）	香川県立図書館研修室	8月9日	15
第四回（古代）	高松市香南歴史民俗郷土館	8月16日	14
第五回（近世）	丸亀城周辺	8月23日	15
合計			57

#### 体験教室「むかしむかし体験まつり～古代の技術に挑戦しよう！～」

内容	会期	人數	備考
勾玉づくり	7月30日～8月3日、 8月18日・8月19日	121	
土器づくり		31	
分銅形土製品づくり		14	
ガラス玉づくり		107	
土笛づくり		53	
石包丁づくり		26	

火おこしタイムバトル	7月30日～8月3日、8月18日・8月19日	52	
弥生人体验キャンプ2007	8月4日・8日5日	20	5家族
合 計		424	

#### 体验教室「土器焼き体験&史跡めぐりウォーク」

内 容	開催日時	人 数
土器焼き体験・史跡めぐり	11月17日 12:45～16:00	37
合 計		37

#### 全事業合計参加者人数

5,722

第16表 香川県埋蔵文化財センター20周年企画事業一覧

#### 6 発掘調査体験学習（「きみのチャレンジが歴史を変える！？」）

子どもの埋蔵文化財への興味や理解を深めるために、平成14年度から小・中学生を対象として、発掘体験を中心とした体験講座を開催してきたが、今年度は8月9日に多度津町西白方瓦谷遺跡で実施した。

当日は、暑い中、小・中学生14名が3グループに分かれ、発掘体験や測量体験、土器の水洗作業の体験を行った。



写真38 発掘体験学習

#### 7 広報誌の刊行

広報誌「いにしえの讃岐」54～57号を刊行した。これまで以上に、わかりやすい内容を掲載することを念頭において編集し、発掘調査や整理作業の最新の成果、速報展等の誌上再現、保存処理のミニ知識、普及啓発活動成果、県内の城跡の紹介等の記事を掲載した。

各号の目次は第17表のとおりである。

号数	内 容
54号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新!!発掘情報 東坂元秋常遺跡・西白方瓦谷遺跡</li> <li>・特集 香川県埋蔵文化財センター20周年企画 夏休み子どもミュージアム 「びっくり!さぬき人2万年のあゆみ ~ふるさとの歴史を発見・体験する夏~」</li> <li>・埋文センター発信! <ul style="list-style-type: none"> <li>整理室だより 稲木北遺跡</li> <li>保存処理室だより 鉄器の保存処理方法(1) ぶらり城跡めぐり 託問城跡</li> <li>自慢の一品 人形-ひとがた-</li> </ul> </li> <li>・夏~秋の催しもの案内</li> </ul>
55号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新!!発掘情報 東坂元秋常遺跡・西白方瓦谷遺跡</li> <li>・特集 香川県歴史博物館との共同展示 「海に開かれた都市 高松-港湾都市900年のあゆみ-」</li> <li>・埋文センター発信! <ul style="list-style-type: none"> <li>整理室だより 奥白方中落遺跡</li> <li>保存処理室だより 鉄器の保存処理方法(2) ぶらり城跡めぐり 十川(十河)城跡</li> <li>自慢の一品 土頭大刀柄頭</li> </ul> </li> <li>・秋~冬の催しもの案内</li> </ul>
56号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新!!発掘情報 文京町二丁目西遺跡・西白方瓦谷遺跡</li> <li>・特集 第四回 四国地区埋蔵文化財センター巡回展 「発掘へんろ~遺跡でめぐる伊豫・土佐・讃岐・阿波~」</li> <li>・埋文センター発信! <ul style="list-style-type: none"> <li>整理室だより 庄八尺遺跡</li> <li>保存処理室だより 木器の保存処理方法(1) ぶらり城跡めぐり 前田東城跡</li> <li>自慢の一品 辛塔婆~そとうば~</li> </ul> </li> <li>・冬~春の催しもの案内</li> </ul>
57号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新!!発掘情報 大灘遺跡・西白方瓦谷遺跡</li> <li>・特集 埋蔵文化財センター速報展 「香川が誇る大弥生集落~弘田川西岸遺跡(善通寺市)~」</li> <li>・埋文センター発信! <ul style="list-style-type: none"> <li>整理室だより 別宮北2号墳</li> <li>保存処理室だより 木器の保存処理方法(2) ぶらり城跡めぐり 大堀城跡</li> <li>自慢の一品 隆平永寶~りゅうへいえいほう~</li> </ul> </li> <li>・普及啓発事業をふりかえって</li> </ul>

第17表 広報誌「いにしえの讃岐」一覧

## 8 文化ボランティア活動

県立文化施設5館共同で文化ボランティア事業を1年更新で実施している。埋蔵文化財センターでも応募採用された15名の文化ボランティアに発掘調査や普及啓発活動の写真・ビデオによる記録撮影と各種の普及啓発活動のサポートを行っていただいた。

主な活動は相手方の依頼に応じたものとなるため、ボランティアの皆さんには不定期の活動に対する日程調整が難しかったり、県内各地へ出向いていただいたりで不便をおかけしたが、活動回数は昨年度並の36回を数えた。また記録撮影の成果品は、「いにしえの讃岐」や「さぬき教育ネット」等の広報活動で活用させていただいた。



写真39 文化ボランティア現場研修



写真40 文化ボランティアによる土器づくりの指導

## 9 資料の貸出・利用

出土品や撮影記録等の埋蔵文化財資料の活用を図るため、展示以外に、学校や埋蔵文化財関係機関等からの資料貸出、資料調査、写真掲載等の要請に応えた。

平成19年度の利用実績については、第18表のとおりである。

区分	学校・大学	研究会・同好会	教育委員会・博物館等	出版社・新聞社	個人・他
遺物	5	1	17	0	1
写真・パネル	1	0	4	1	0
レプリカ・模型	0	0	0	0	0

第18表 資料貸出・利用一覧(数字は件数)

## 10 研究紀要の刊行

職員の日常における埋蔵文化財の調査・研究の成果をまとめ、業務に反映することを目的に、「香川県埋蔵文化財センター研究紀要Ⅳ」を刊行した。内容は以下のとおりである。

信里芳紀「大溝の検討－弥生時代の灌漑水路の位置付け－」

渡部明夫・信里芳紀「坂出市岩屋寺所蔵の柱状片刃石斧・鉄斧について」

川畠迪・渡部明夫「坂出市新宮古墳出土須恵器について」

田村久雄・渡部明夫・渡邊誠「陶（十瓶山）窯跡群の瓦生産について（1）」

長井博志「稻木北遺跡と古代の多度郡」

## 11 新聞連載

平成18年11月1日から、毎週水曜日の四国新聞に連載していた「古からのメッセージさぬき歴史教室⑤」は、執筆者が県内の市町教育委員会で日々文化財の保護に取り組む職員も加え、より地域に密着した文化財をふるさとの視点からわかりやすく解説した。本連載は今年度中に終了し、次年度からは新たな企画で継続していく予定である。

## 12 博物館実習・職場体験学習

これまでも行ってきた中学校・高等学校生徒の職場体験学習の受け入れを行った他、博物館実習の受け入れも行った。作業内容は、出土品の接合・実測、貸出品の検索・収納、ワークショップ準備、展示作業の補助等である。受け入れた学校と人数については第19表のとおりである。

学校	期間	人数(人)	備考
四国学院大学	8月6日～10日	4	博物館実習
まんのう町立満濃中学校	7月31日～8月2日	2	職場体験学習
坂出市立府中幼稚園	7月31日・8月1日	1	10年研修
香川県立香川中央高校	8月22日	1	職場体験学習
坂出市立坂出中学校	10月29日～11月2日	4	職場体験学習
多度津町立多度津中学校	11月21日・22日	10	職場体験学習
まんのう町立琴南中学校	11月14日・15日	2	職場体験学習
坂出市立白峰中学校	1月23日～25日	3	職場体験学習

第19表 博物館実習・職場体験学習一覧

### 13 刊行物一覧

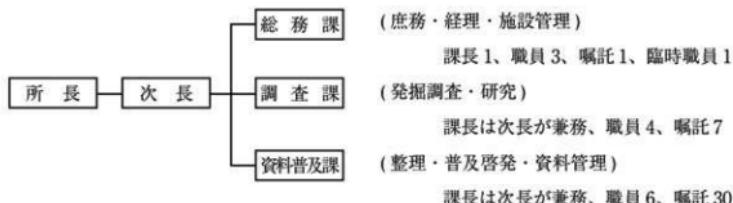
- ・香川県埋蔵文化財センター年報 平成 18 年度
- ・香川県埋蔵文化財センター研究紀要Ⅳ
- ・広報誌「いにしえの讃岐」 54 ~ 57 号

※発掘調査報告書は「整理・報告事業」にまとめた。

## IV 組織・施設

### 1 香川県埋蔵文化財センターの組織

#### (1) 組織



#### (2) 職員

所 属	職 名	氏 名	備 考
所 長		渡部 明夫	
次 長		廣瀬 常雄	
総務課	課 長	野口 孝一	
	主 任	宮田久美子	
	タ	鶴田 和司	
	タ	古市 和子	
	嘱 託	松尾 健三	
調査課	課長（兼務）	廣瀬 常雄	
	主任文化財専門員	西岡 達哉	
	文化財専門員	木下 晴一	
	タ	山元 素子	
	タ	山下 平重	
	嘱 託	高嶋 勝英	
	タ	木野戸 直	
	タ	藤井菜穂子	
資料普及課	課長（兼務）	廣瀬 常雄	
	主任文化財専門員	西村 尋文	
	文化財専門員	北山健一郎	
	タ	森下 英治	
	タ	藏本 晋司	
	タ	宮崎 哲治	
	タ	長井 博志	

第20表 職員一覧

## 2 施設の概要

(1) 所在地 香川県坂出市府中町字南谷 5001-4

(2) 敷地面積 11,049.23m<sup>2</sup>

### (3) 建物構造・延床面積

①本館	鉄筋コンクリート造・2階建 (一部鉄骨造・平屋建)	1,362.23m <sup>2</sup>
②分館	鉄骨造・2階建	337.35m <sup>2</sup>
③第1収蔵庫	鉄骨造・2階建	1,525.32m <sup>2</sup>
④第2収蔵庫	鉄骨造・3階建	2,040.33m <sup>2</sup>
⑤車庫	鉄骨造・平屋建	29.97m <sup>2</sup>
⑥自転車置場	鉄骨造・平屋建	25.00m <sup>2</sup>

香川県埋蔵文化財センター年報

平成 19 年度

平成 20 年 7 月 31 日 発行

編集・発行 香川県埋蔵文化財センター

〒 762 - 0024

香川県坂出市府中町南谷 5001 番地の 4

電 話 (0877) 48 - 2191

F A X (0877) 48 - 3249

印 刷 株式会社 成光社